

令和4年度事業報告

I. 事業の状況

1. 奨学事業

(1) 奨学生の選考及び決定

- ① 令和4年5月13日開催の選考委員会において、推薦を依頼した17大学からの新規奨学生候補者36名について審査の結果、下表の通り一般奨学生27名を新規に採択、又、88名の継続について採択とし、理事会は令和4年度の奨学生としてこれを決定し、各推薦大学及び本人に通知した。

(内訳)

| 種別 | 4年4月採択者 | 継続者 | 合計 | 年度途中終了者 |
|-------------------|---------|-----|-----|---------|
| 一般奨学生 | 27 | 77 | 104 | 7 |
| 酒井メモリアル・スカラシップ奨学生 | 0 | 11 | 11 | 2 |
| 渡日時奨学生 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 27 | 88 | 115 | 9 |

(注1) 一般奨学生の継続者には、渡日時奨学生からの振替者を含む。

(注2) 酒井メモリアル・スカラシップ奨学生には、一般奨学生からの振替者を含む。

(注3) 年度途中に9名の支給期間が終了したため、年度末の奨学生数は106名となった。

(2) 奨学金の支給

① 奨学金贈呈式

令和4年7月3日に新規採択奨学生への奨学金贈呈式を開催した。

② 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学生（学部生月額18万円、大学院生月額20万円）、酒井メモリアル・スカラシップ奨学生（大学院生月額20万円）をそれぞれ4月から1年間支給した。

(3) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和5年1月11日、奨学生に学業状況並びに生活状況の報告を求めた。

(4) 募集関係

令和5年1月31日付けで、令和5年度奨学生候補者の推薦を15大学長あて依頼した。（締切日：令和5年3月6日）

(5) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員、評議員選定委員の出席を得て次のとおり実施した。

第1回令和4年7月3日(於：ザ・キャピトルホテル東急)

第2回令和4年10月12日～14日

2泊3日の長野・富山・金沢方面への研修旅行

第3回令和4年12月17日(於：ザ・キャピトルホテル東急)

第4回令和5年3月11日(於：ザ・キャピトルホテル東急)

(6) 「交流のひろば」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「交流のひろば」第28号の令和5年6月10日発行に向けて編集作業を行った。

2. 研究助成事業

令和4年11月21日開催の選考委員会において、申請のあった52件の中から31件を採択とし、理事会は第9回研究助成としてこれを決定し、本人に通知した。採択者一覧は別紙のとおり。

また、令和4年12月17日に、研究助成金贈呈式を開催した。

3. 顕彰事業

(1) 第2回ヒロセ賞贈呈式の開催

新型コロナウイルス感染症のため延期していた第2回ヒロセ賞(受賞者：東京都市大学 特任教授藤田博之氏)の贈呈式を、令和4年7月3日に開催した。

(2) 第3回ヒロセ賞受賞者の決定

令和5年2月6日開催のヒロセ賞選考委員会において、慶應義塾大学特任教授大西公平氏を受賞候補者として選定、理事会は同氏を第3回ヒロセ賞受賞者として決定し、本人に通知した。

また、令和5年3月11日に、第3回ヒロセ賞贈呈式を開催した。

4. その他事業

(1) 芸術文化交流事業

奨学生並びに財団関係者を対象に、芸術文化を通じた国際親善・交流を図るため、公益財団法人新国立劇場運営財団、公益財団法人日本ナショナルトラスト等と連携し、舞台鑑賞、美術館・博物館訪問を下記の通り行った。

① 新国立劇場 (各公演から1つを選択し鑑賞)

6月4日 バレエ「不思議の国のアリス」

7月29日 バレエ「ペンギン・カフェ」

12月6日 オペラ「ドン・ジョヴァンニ」

12月28日 バレエ「くるみ割り人形」

2月8日 オペラ「タンホイザー」

② 歌舞伎座

3月18日、19日、21日 三月大歌舞伎 第二部 演目

「仮名手本忠臣蔵 十段目 天川屋義平内の場」

「身替座禅」

- ③ 東京フィルハーモニー交響楽団（希望者のみ各公演 3 名）
 サントリー定期シリーズ 全 8 公演うち 2 月以降の 7 公演
 なお、1 月公演は新型コロナウイルス感染症に係る入国制限のため公演中止。
- ④ 美術館・博物館訪問（居住地により訪問先を選択）
- | | |
|-------|------------------------------|
| 北海道 | 小樽市総合博物館、小樽芸術村（北海道小樽市） |
| 東北 | 仙台文学館、スリーエム仙台市科学館（宮城県仙台市） |
| 関東 | 国立科学博物館、旧安田楠雄邸庭園（東京都台東区、文京区） |
| 長岡 | 新潟市歴史博物館みなとぴあ（新潟県新潟市） |
| 金沢 | 金沢 21 世紀美術館（石川県金沢市） |
| 東海 | リニア・鉄道館（愛知県名古屋市） |
| 京都・大阪 | 清水三年坂美術館（京都府京都市） |
| 神戸・広島 | 大原美術館（岡山県倉敷市） |
| 九州 | 九州国立博物館（福岡県太宰府市） |

（2）交流会館

前年に引き続き、2030 年迄を目途に、少しずつ具体化を図るため、準備委員の建築家のアドバイスを得て、一級建築士による基本計画図を作成した。

また、候補地については、大手不動産会社等からの情報により、六本木、麻布、三田エリアを中心に選定中であるが、候補物件が少ないことから、対象を都内、郊外、地方を含め拡大を検討している。

II. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

（1）理事会

| 開催年月日 | 議事事項 | 会議の結果 |
|--|--|-----------------|
| 令和 4 年 5 月 27 日 (決議の省略) | 1. 令和 4 年度ヒロセ財団奨学生の決定について | 全会一致で承認・可決 |
| 令和 4 年 6 月 10 日 (第 1 回通常理事会) (決議の省略) | 1. 令和 3 年度事業報告及び決算について | 全会一致で承認・可決 |
| 令和 4 年 12 月 7 日 (決議の省略) | 1. 令和 4 年度研究助成の決定について | 全会一致で承認・可決 |
| 令和 5 年 1 月 13 日 (決議の省略) | 1. 日本人学生を対象とした奨学援助事業の創設 2. 研究助成事業の拡充及び定款の変更について | 全会一致で承認・可決 〃 |

| | | |
|-------------------------|--|---------------------------|
| 令和5年2月1日 (決議の省略) | 1. 令和4年度臨時評議員会の開催及び招集について | 全会一致で承認・可決 |
| 令和5年2月16日 (決議の省略) | 1. 第3回ヒロセ賞受賞者の決定について | 全会一致で承認・可決 |
| 令和5年3月11日 (第2回通常理事会) | 1. 令和5年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 2. 定款の一部変更について 3. 株主権の議決権行使について 4. 令和5年度定時評議員会の開催及び招集について 5. 職務執行状況の報告について | 全会一致で承認・可決 〃 〃 〃 |

(2) 評議員会

| 開催年月日 | 議事事項 | 会議の結果 |
|----------------------------------|---|----------------------|
| 令和4年6月30日 (定時評議員会) (決議の省略) | 1. 令和3年度事業報告 2. 令和3年度決算の承認について 3. 補欠理事の選任について | 全会一致で承認・可決 〃 〃 |
| 令和5年1月20日 (決議の省略) | 1. 日本人学生を対象とした奨学援助事業の創設 2. 研究助成事業の拡充及び定款の変更について | 全会一致で承認・可決 〃 |
| 令和5年3月11日 (臨時評議員会) | 1. 令和5年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 2. 定款の一部変更について | 全会一致で承認・可決 〃 |

(3) 選考委員会

| 開催年月日 | 議事事項 | 会議の結果 |
|------------|-------------------------|--------------------|
| 令和4年5月13日 | 1. 令和4年度奨学生の選考 | 一般奨学生21名、再申請者6名を選考 |
| 令和4年11月21日 | 1. 第9回(令和4年度)研究助成応募者の選考 | 31件を選考 |

(4) ヒロセ賞選考委員会

| 開催年月日 | 議事事項 | 会議の結果 |
|----------|-----------------|------------|
| 令和5年2月6日 | 1. 第3回ヒロセ賞選考委員会 | 全会一致で1名を選考 |

なお、令和4年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。